

京都市では、施設の運営状況を分かりやすくお伝えする取組を行っています。

京都市動物園の運営について

京都市動物園は、市民の皆様の寄付金と市費によって明治36年4月に開園した全国で2番目に歴史のある動物園です。

動物園の主な取組（概要）

○ 動物の種の保存・展示

キリンやゾウ、サルやペンギンなど約100種、約700点の動物を飼育・展示しています。希少野生動物の繁殖にも積極的に取り組み、日本で唯一ニシゴリラの3世代飼育に成功しています。



○ 教育普及事業

園内ガイドや教育プログラム、動物の生態や種の保全、SDGsの推進等に関する講演等を実施しています。

○ 研究事業

「生きもの・学び・研究センター」を中心に学習・啓発イベントや書籍・論文等の研究成果の発表を行っています。



施設の利用状況（概数）

年間約61万人の方々にご来園いただいています。（令和7年度）

（令和6年度約64万人、令和5年度約68万人）

施設運営に関する支出・収入（概数）

入園者1人あたりに換算すると、上記の取組などによる年間の支出は1,150円（総額約7億円）、入園料などの収入は500円（総額約3億円）です。この他、施設を利用しない方も含めた、市民の皆様からの税金を活用し、運営しています。

<支出：1,150円（総額約7億円）> ※サルワールド再整備工事にかかる費用含む。

光熱水費、エサ代、 改札委託、清掃費等 439円	小修繕、 備品購入 14円	職員人件費 665円	維持 改修費 32円
--------------------------------	---------------------	---------------	------------------

<収入：500（総額約3億円）>

寄付金等 77円	入園料等 423円	差額650円 市民の皆様からの税金を活用
-------------	--------------	-------------------------